

「原発ゼロを」 各県で集会・デモ

「3・11 忘れない」

東日本大震災・福島第一原発事故から、11日で13年を迎えました。「この日を忘れない」「原発ゼロを」と、東海・北陸信越の各地で集会やデモが開催されました。

「地震列島にいらない」

① 愛知

愛知県内各地で10、11の両日、東日本大震災の犠牲者を悼むとともに「脱原発」を呼びかける集会が開かれました。名古屋市中区で



「脱原発」をアピールし、デモ行進する参加者。10日、名古屋市中区

は、「原発ゼロナゴヤアクション」が10日に開かれ、200人が参加しました。

集会で藤原はつぎ代表は、「能登半島地震では、半島にある志賀原発（石川県）が外部電源を一時喪失し、油

の流出まであります。もし事故が起きていたら半島の人は逃げられない」と指摘し、「脱原発へと時代はシフトしている。一緒に脱原発の声をあげよう」と呼びかけました。

稼働させない運動重要

② 石川

原発を考える石川女性の会は9日、金沢市の県女性センターで能登半島地震と志賀原発についての学習会を行いました。約80人が参加しました。新潟大学の立石

雅昭名誉教授（地質学）を講師に学習会を

リレートークでは、「たまっちゃおれん！ 原発事故人権侵害訴訟・愛知岐阜」の岡本早苗さん、「老朽原発40年廃炉訴訟市民の会」の草野妙子さんが発言。各政党代表からも参加し、日本共産党のものとむら伸子衆院議員が連帯あいさつしました。

デモ行進では、「地震列島に原発いらない」「原発事故は国の責任」とコール。中高生の飛び入り参加も複数見られました。

行いました。高村可代子代表は、あいさつで「会のスロガンである『美しい能登に原発はいらない』この言葉を行動に移すための学習です」と述べました。

立石氏は、2012年に北陸電力志賀原発周辺の地形や地質、断

層を地域の住民とともに調査した時のデータや資料も使って解説しました。1月の能登半島地震を踏まえ、志賀原発で事故が発生して避難が必要になっても、道路は隆起や陥没で寸断され避難できず、家屋は倒壊し、屋内待機もできない地域もあったことをあげ

講演する立石氏（正面）と聞き入る参加者。9日、金沢市



「避難計画を作り直す必要がある」と指摘し、「志賀原発を稼働させない運動が重要なポイントとなる」と強調。「使用済み核燃料を安全に管理させることも重要だ」と述べ

働させない運動が重要なポイントとなる」と強調。「使用済み核燃料を安全に管理させることも重要だ」と述べ

全て運転停止・廃炉へ

@福井

さきなら原発福井県
 集会2024in敦賀
 が9日、福井県敦賀市
 ぎらめきみなと館で開
 かれた。オンライン
 視聴とあわせて約4
 50人が参加し「原発
 のない新しい福井へ」
 の思いを込めました。
 この集会は実行委員
 会による主催で、30団
 体、約200人が賛
 同。東日本大震災と福
 島第一原発事故の犠牲
 者に黙とうを行い、
 「すべての原発の運転
 停止と廃炉を要求させ
 るために大きな声を上
 げよう」と呼びかける
 集会アピールを拍手で
 採択。市内をパレード
 しました。

島崎邦彦・元原力
 規制委員代理が特別
 講演を行い、「地震国
 日本共産党、社民党
 県連合、緑の党の各政
 党が連帯のメッセージ
 を寄せました。

県の避難計画は脆弱だ

@新潟

原発をなくす新潟県
 連絡会が9日、新潟市
 で原発ゼロ新潟中央集
 会を開き、140人が
 参加しました。集会后
 のデモ行進では、運行
 中の若者たちが「福井
 シュンレイトコールす
 るもありません」。

緑・にいがた代表の
 中山均新潟市職員自治
 体の拠点から講演。県
 内市町村による原子力
 安全対策に関する研究
 会では、会社や学校な
 どでの安定3ウツ燃料の
 備蓄や服用の基準、避
 難者を受け入れる自治



集会に参加した参加者。福井県敦賀市

日本に、能登半島地震
 のような地震はいつで
 もいつでも起こる。た
 だ「いつ・どこ」か
 は残念ながらわからな
 い。政府は国民に伝え
 るべきことを伝えてい
 ない。よごでも起こる
 なら、原発の下でも起
 こる」と強調しまし
 た。

体の対応など、多くの
 課題が指摘されている
 が、県は「今後検討す
 る」と言っただけで、避
 難計画の実効性も安全
 性も脆弱(せいじゃ
 く)だと指摘。原発事
 故時に直接住民に向き
 合う自治体への働きか
 けを紹介しました。

柏崎刈羽原発差し止
 め訴訟原告団の吉田隆
 介さんは柏崎市民の立
 場から講演。能登半島
 地震では津波から避難
 する車で渋滞が起き、
 原発事故時の一時避難
 先のコシケンも海側で
 利用できなかったと報
 告。避難が必要な危険



原発ゼロのプラカードを掲げる参加者=9日、新潟市

「海洋放出は中止せよ」

@長野

長野県松本市で10
 日、「サラバ原発長野
 県大行進in松本」が
 あり、約250人がデ
 モ行進で「つなごう
 フクシマ、広げよう脱
 原発、とめよう再稼
 働」とアピールしまし
 た。主催は脱原発信州

ネットワーク・松本で
 す。日本共産党の両角
 友成県議、社民党の中
 川博司県議が参加し
 ました。
 参加者は東日本大震
 災や原発事故で亡くな
 った人びとに黙とう
 し、「地震列島にキケ
 ンな原発いらぬ」「
 海洋放出中止せよ」

と書いたプラカードを
 掲げパレードしまし
 た。
 リレートークでは元
 京都大学原子炉実験所
 助教の小出裕章さん、
 石川県在住で北陸電力
 と共に脱原発をすすめ
 る株主の会の中垣たか
 子さん、新潟県の武本
 和幸刈羽村議がマイク
 を握りました。「主権
 者として言い続けなけ
 ればならない」「小出
 さん、「原発を止める
 のは市民の力」「中垣
 さん、「日本列島に原
 発は共有できない」「
 (武本さん)と訴えま
 した。

「原発ゼロをめざす
 可成の会」は10日、岐
 阜県可児市の文化創造
 センター南交差点で
 フクシマを忘れない
 「原発いらぬ」な
 どの横断幕やプラカー
 ドを掲げてスタンディ
 ングとリレートークで
 通行人に訴えました。
 高相明子会長は、
 「13年前の福島第一原

事故処理進んでいない

@岐阜

集会に先立ち「ぼこ
 ・あ・ぼこ」による歌
 と演舞がありました。
 この日は各地で集
 会、デモが行われまし
 た。
 困難区域が指定され、
 原発事故処理は進んで
 いません。日本は活断
 層の上であり原発もある
 のは自衛行為だと訴え
 続けましょう」と呼び
 掛けました。

参加者15人が次々と
 マイクを持ち、「東日
 本大震災以降、日本中
 ほび毎日どこかで地震
 が起きている。事故が
 起きてからでは遅い。
 いま全ての原発の稼働
 を止めよう」「地震大
 國の日本には放射性廃
 棄物を保管してよい場
 所はない。政府の政策
 は日本を滅ぼしてしま
 う」などと訴えまし
 た。



会の呼びかけに集まった参加者ら=10日、岐阜県可児市



デモ行進する参加者たち=10日、松本市

同日に岐阜市でも
 「さよなら原発・善
 美」主催の集会とデモ
 行進が行われ、130
 人が参加し「フクシマ
 事故は終わってない」
 と訴えました。